

シリーズ まちづくり 第3回 最前線

今、身近な暮らしの中で着実に広がっているのが、市民の皆さんによるまちづくり活動。その活動の様子や、そこに集う皆さんの思いをシリーズで紹介していきます。

【今月のまちづくり活動団体】 北海道映像産業 振興連盟

映像関係の企業や団体からなるNPO法人。札幌市のフィルムコミッションと協力し、北海道の映像産業を活性化するため、人材育成や市場開拓を行っています。

■フィルムサポーター会員／145人
■開設年月／2007年2月
■☎616-3555
ホームページ www.hfa.gr.jp

代表理事の
やまの ひさし
山野久治さん
が紹介します

札幌の映像産業の
振興を図る!



現在登録しているエキストラは、8歳～77歳の126人。研修を行い、レベルアップを図っています

みんなで 一つのものを つくり上げる喜び

エキストラとして
さまざまな撮影に
参加している
わたなべ ゆみ
渡辺 由美さん

寒い屋外での撮影に何時間もかかるなど大変なこともあります。たくさんの人と一緒に一つの作品をつくり上げる連帯感が楽しくて、年に数回、ドラマや映画のエキストラとして撮影に参加しています。都合の良いときだけで大丈夫なので、皆さんもやってみませんか?

雪と自然を世界に売り込む

皆さんは、札幌の魅力は何ですかと聞かれてすぐに答えられますか?

海外から見た場合、「雪の降る美しい景色と雄大な自然」。これが、札幌の魅力ではないでしょうか。

わたしたちは、この「雪と自然」という魅力を武器に、世界中に札幌を売り込み、映画やテレビ、CMなどの撮影場所として使ってもらうことで、札幌の映像産業を盛り上げていく取り組みを行っています。

映像産業を札幌の基幹産業に

札幌に撮影隊が来ることで、映像関連産業が活性化するのはもちろん、宿泊や飲食などを行うことで、直接的な経済効果が生まれます。

また、テレビや映画などで映像が流れることで、札幌の知名度が飛躍的に向上し、観光客が増加します。これにより市内のさまざまな産業に活気がもたらされるのです。

札幌の自然の中や街頭などでの撮影を誘致・支援する専門組織「さっぽろフィルムコミッション」が、平成15年に市の組織として誕生しました。わたしは、それ以前から撮影場所の調整などコーディネートの仕事を行っており、常々映像産業が札幌の基幹産業になると考えていました。そのため、このフィルムコミ

ッションの設立をきっかけに市内の映像にかかわる業者をまとめ、現在の活動を開始しました。

札幌のPRと人材育成

活動の中心となるのが「札幌」の魅力発信。市のフィルムコミッションと一緒に、韓国やカンヌなど世界各地の映画祭を訪れ、世界に向けてPRを行っています。

また、撮影の際に必要な通行人などのエキストラの育成にも力を入れています。年に数回、ウォーキングなどテーマを決めた演技講習を行い、エキストラの質が日本で一番と言われるよう努力を重ねています。

さらに、制作スタッフの教育にも力を入れ、将来の札幌の映像産業を支える人材を育成しています。

札幌を日本一の映像都市に

知名度があり、雪と自然という強みもある北海道・札幌は、日本で最高の映像都市になる素質を持っています。

「雪の場面なら札幌で撮影したい」と世界中から言われるようなまちになれば、うれしいですね。

寄付で まちづくりに 参加を!

「市民まちづくり活動促進条例」の施行に伴い、市では、皆さんのまちづくり活動を応援する新たな基金「さぽーとほっと基金」を設置しました。忙しくて活動に参加できない方も、「寄付」でまちづくりに参加しませんか。環境・福祉などの活動分野や、登録団体を指定して寄付することができます。

詳細 市民活動促進担当 ☎211-2964 ホームページ www.city.sapporo.jp/shimin/support
100万円以上の高額寄付者(平成20年9月～12月): 杉山宏二さん